

# 写真で振り返る『中川村の今昔』

## 1955 昭和30年 陣馬形の小屋

陣馬形山は昭和5年以来、南向村青年会によって登山道、宿泊小屋、その他宿営設備、井戸などが管理されてきた。昭和32年には南向村によって小屋が増築されたが、三六災害以降、登山道が被害を受け、青年会も人数が減少したため昭和35年をもって青年会による管理は終了し、村からの委託による運営となつた。



陣馬形避難小屋①／昭和46年の陣馬形牧場の開設に伴い現在の位置に避難小屋が建設された。平成20年まで桑原キャンプ場管理組合に委託して運営したが、現在は村の直営管理となっている。平成28年に改修工事を行い、「陣馬形山荘」という愛称で親しまれている。

## 1960 昭和35年 旧天竜橋

昭和25年6月の天竜川大増水によって流失した旧天竜橋は、県への請願を重ね昭和29年5月、流失以来5年目で鉄筋コンクリート造りローゼ式の永久橋として完成した。南向・上片桐・大島・大鹿4か村合同のしゅん工式には、2万人の人出があったと当時の新聞に記録がある。



現在の天竜橋②／昭和63年しゅん工の現在の天竜橋。昭和60年には発電所の排水路用地を活用し、「渡場いこいの広場」のみなさんがイチョウの木を植え、平成の初め頃から中央アルプスと紅葉したイチョウ並木を楽しめる景勝地となっている。

## 1969 昭和44年 国道153号工事風景 (片桐中央中村地籍から南を望む)

昭和32年、道路整備5か年計画によって見直された国道の新路線は、小平、小和田、田島を経由して松川町に至るルートであった。牧ヶ原トンネルは昭和43年から本工事が、国道工事はその前年から工事が始まり、南田島から北へ進んだ。トンネル両側の小和田、中央地区の道路予定地はほとんどが水田で、盛り土を多く必要とした。



村発足当時から大きく風景のかわった国道沿い①



1940年代後半 昭和20年代前半 航空写真



現在の航空写真②／地図データ:Google

## 1965～1975 昭和40年～50年 田島地区商店街

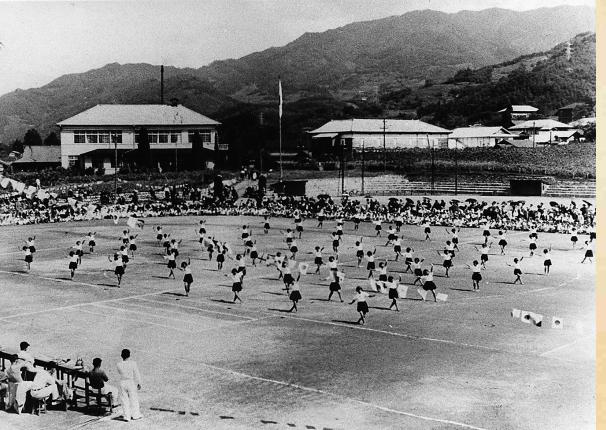
田島地区古瀬の集落を通りの旧街道は、昭和45年まで国道として多くの往来で賑わった。昭和初期から古瀬(田島地区)の街道筋には、近隣から歩いて買い物客が集まり、衣料品、魚、酒、薬、床屋、雑貨などの生活必需品は全て揃った。昭和60年の廃線まで、伊那バス大島七久保線がこの道を行っていた。



現在の田島地区旧街道①

## 1954 昭和29年 南向中学校 運動会

南向中学校は、昭和23年の火災で校舎(現中組会館の位置)が消失したことをきっかけに南向小学校校舎(現望岳荘の位置)に移転していたが、昭和28年、堂ヶ原(現東小学校の位置)に独立校舎が建設された。昭和27年5月には早くもグラウンド開きが行われている。奥には、南向村役場や大草稚蚕所などが見える。



東小学校グラウンド①／統合中学校の開校に合わせ、昭和51年4月から本校と葛島分校が統合し、中川東中学校跡地へ移転、現在の東小学校の校庭となった。

## 年代不詳／被災前 南向尋常高等小学校 四徳分教場

村発足と同時に、南向小学校四徳分教場及び南向中学校四徳分室は東小学校四徳分教場及び東中学校四徳分室となった。三六災害で校舎は一部流出、教材教具も埋没した。小学校校舎はその後大修補し、現地で学習を再開。中学校校舎は危険なため取り壊し、大草に寄宿舎を設けて本校受入れとなつた。



村発足20周年の節目に跡地に建てられた「こころのふるさと」の碑。②のカラー写真／災害時、小学校児童58人、教諭3人、中学校生徒28人、教諭4人。災害による移住者が続出し、昭和37年4月には児童数20人となり、全戸移住が決まる。昭和38年4月には四徳在来の児童は0人となった。復興作業員の子ども1人が松川町へ移住したため、同年7月31日をもって廃校となった。現在も跡地周辺は四徳人会のみなさんによって手入れがされている。

## Nakagawa 60 years History

# 1958~2018 中川村発足60年のあゆみ

<b>昭和33年</b>	<b>1958</b>	3月31日 新市町村建設促進法に基づき、南向・片桐両村合併調印式
8月1日	中川村発足	8月1日 村長選挙執行 初代村長に戸枝馨氏が当選
8月24日		8月24日 台風22号(伊勢湾台風により天の中川橋流失)
11月2日	合併祝賀式	11月2日 合併祝賀式
<b>昭和34年</b>	<b>1959</b>	1月1日 部落合併により北組部落発足
3月2日		3月2日 村章決定
1月1日		1月1日 片桐有線放送設施完成、5月1日放送開始
7月1日		7月1日 天の中川橋(永久橋)竣工式
5月		5月 三六災害復旧のため災害公営住宅30戸建設
8月12日		8月12日 村長選挙執行 村長に戸枝馨氏が無投票再選
<b>昭和35年</b>	<b>1960</b>	10月1日 片桐保育園設置認可
6月27日		6月27日 三六災害発生、全村に大打撃、災害救助法が適用
<b>昭和36年</b>	<b>1961</b>	4月 無灯家屋27戸が解消
7月1日		7月1日 南向有線放送設施完成、7月11日放送開始
<b>昭和37年</b>	<b>1962</b>	4月 片桐有線放送設施完成、5月1日放送開始
1月14日		1月14日 大草保育園完成
<b>昭和38年</b>	<b>1963</b>	3月 赤穂高校定期制中川分校廃校
7月		7月 夏季学生村開設
7月31日		7月31日 中川東小学校四徳分校廃校
<b>昭和39年</b>	<b>1964</b>	11月 災害復旧事業完成記念式典
3月24日		3月30日 西公民館完成、片桐支所を併設
<b>昭和40年</b>	<b>1965</b>	10月 国道153号全面舗装
7月31日		7月31日 中川東小学校桑原分校廃校
<b>昭和41年</b>	<b>1966</b>	1月1日 消防団5分団体制から3分団体制第2分団と第3分団が合併し第2分団、第4分団と第3分団が合併し第3分団となる
3月20日		3月20日 「南向村誌」発刊
7月5日		7月5日 村長選挙執行 村長に戸枝馨氏が3選
<b>昭和42年</b>	<b>1967</b>	4月1日 かつら保育園村立移管
4月1日		4月1日 福祉センター完成(東公民館を併設)
<b>昭和43年</b>	<b>1968</b>	10月7日 北海道中川町友好姉妹町村提携5周年記念式典
11月28日		11月28日 中川東小学校体育馆完成
<b>昭和44年</b>	<b>1969</b>	1月30日 大草保育園完成
8月12日		8月12日 村営水道敷設10周年記念式
<b>昭和45年</b>	<b>1970</b>	12月4日 中川西小学校体育馆完成
3月24日		1月1日 消防団5分団体制から3分団体制第2分団と第3分団が合併し第2分団、第4分団と第3分団が合併し第3分団となる
<b>昭和46年</b>	<b>1971</b>	3月30日 西公民館完成、片桐支所を併設
7月9日		7月9日 国道153号全面舗装
<b>昭和47年</b>	<b>1972</b>	1月1日 災害復旧事業完成記念式典
7月31日		7月31日 中川東小学校桑原分校廃校
<b>昭和48年</b>	<b>1973</b>	10月 国道153号坂戸地籍改良工事完成
4月25日		4月25日 片桐診療所完成
<b>昭和49年</b>	<b>1974</b>	5月18日 隅馬形山に初めての村営バスの運行開始
4月1日		5月18日 隅馬形山に避難小屋完成
<b>昭和50年</b>	<b>1975</b>	7月 隅馬形山に避難小屋完成
4月1日		7月 小波湖周辺及び隣馬形山、県立公園に指定
<b>昭和51年</b>	<b>1976</b>	9月6日 国道153号牧原トネル坂戸-松川間が供用開始
4月2日		9月18日 総合中学校起工式(牧ヶ原)
<b>昭和52年</b>	<b>1977</b>	4月3日 中川村第1次総合計画策定
4月12日		4月12日 片桐診療所完成
<b>昭和53年</b>	<b>1978</b>	5月1日 飯沼橋完成
4月1日		5月1日 村営水道建設開始(水道普及率13%)
<b>昭和54年</b>	<b>1979</b>	6月9日 中川村第2次総合計画策定
4月14日		6月14日 部落合併により福親部落、渡場部落となる
<b>昭和55年</b>	<b>1980</b>	7月1日 青年婦人会館完成
4月14日		7月24日 牧ヶ原橋渡り初め式
<b>昭和56年</b>	<b>1981</b>	8月21日 片桐保育園完成
4月14日		8月21日 基幹集落センター完成、これを機に各地域の集会施設が次々に建設
<b>昭和57年</b>	<b>1982</b>	9月27日 高齢者創作館完成
4月14日		9月27日 台風10号豪雨災害
<b>昭和58年</b>	<b>1983</b>	10月16日 中川西小学校校舍完成
5月11日		10月16日 村長に宮崎昌直氏が無投票3選
<b>昭和59年</b>	<b>1984</b>	11月1日 町村名が縁で、北海道中川町と姉妹町村提携調印式
5月26日		11月1日 長史民俗資料館開館
<b>昭和60年</b>	<b>1985</b>	12月27日 中川東小学校葛島分校廃校
5月10日		1月1日 部落合併により南陽部落発足
<b>昭和61年</b>	<b>1986</b>	2月25日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
5月26日		3月1日 中川東小学校葛島分校廃校
<b>昭和62年</b>	<b>1987</b>	4月1日 部落合併により南陽部落発足
1月1日		4月1日 中川村土地開発公社設立
<b>昭和63年</b>	<b>1988</b>	4月25日 飯沼橋完成
1月1日		5月1日 村営水道建設開始(水道普及率13%)
<b>昭和64年</b>	<b>1989</b>	6月9日 中川東小学校葛島分校廃校
1月1日		7月16日 中川西小学校校舍完成
<b>平成1年</b>	<b>1990</b>	8月23日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		9月27日 中川東小学校校舍完成
<b>平成2年</b>	<b>1991</b>	10月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		11月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成3年</b>	<b>1992</b>	12月27日 中川東小学校葛島分校廃校
1月1日		1月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成4年</b>	<b>1993</b>	2月25日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		3月1日 中川東小学校葛島分校廃校
<b>平成5年</b>	<b>1994</b>	4月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		5月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成6年</b>	<b>1995</b>	6月9日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		7月16日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成7年</b>	<b>1995</b>	8月23日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		9月27日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成8年</b>	<b>1996</b>	10月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		11月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成9年</b>	<b>1997</b>	12月27日 中川東小学校葛島分校廃校
1月1日		1月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成10年</b>	<b>1998</b>	2月25日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		3月1日 中川東小学校葛島分校廃校
<b>平成11年</b>	<b>1999</b>	4月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月12日		5月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成12年</b>	<b>2000</b>	6月9日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月12日		7月16日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成13年</b>	<b>2001</b>	8月23日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		9月27日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成14年</b>	<b>2002</b>	10月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		11月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成15年</b>	<b>2003</b>	12月27日 中川東小学校葛島分校廃校
1月1日		1月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成16年</b>	<b>2004</b>	2月25日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		3月1日 中川東小学校葛島分校廃校
<b>平成17年</b>	<b>2005</b>	4月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		5月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成18年</b>	<b>2006</b>	6月9日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		7月16日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成19年</b>	<b>2007</b>	8月23日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		9月27日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成20年</b>	<b>2008</b>	10月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		11月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成21年</b>	<b>2009</b>	12月27日 中川東小学校葛島分校廃校
1月1日		1月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成22年</b>	<b>2010</b>	2月25日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		3月1日 中川東小学校葛島分校廃校
<b>平成23年</b>	<b>2011</b>	4月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		5月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成24年</b>	<b>2012</b>	6月9日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		7月16日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成25年</b>	<b>2013</b>	8月23日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		9月27日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成26年</b>	<b>2014</b>	10月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		11月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成27年</b>	<b>2015</b>	12月27日 中川東小学校葛島分校廃校
1月1日		1月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成28年</b>	<b>2016</b>	2月25日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		3月1日 中川東小学校葛島分校廃校
<b>平成29年</b>	<b>2017</b>	4月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		5月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成30年</b>	<b>2018</b>	6月9日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		7月16日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成31年</b>	<b>2019</b>	8月23日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		9月27日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成32年</b>	<b>2020</b>	10月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		11月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成33年</b>	<b>2021</b>	12月27日 中川東小学校葛島分校廃校
1月1日		1月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成34年</b>	<b>2022</b>	2月25日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		3月1日 中川東小学校葛島分校廃校
<b>平成35年</b>	<b>2023</b>	4月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		5月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成36年</b>	<b>2024</b>	6月9日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		7月16日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成37年</b>	<b>2025</b>	8月23日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		9月27日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成38年</b>	<b>2026</b>	10月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
1月1日		11月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成39年</b>	<b>2027</b>	12月27日 中川東小学校葛島分校廃校
1月1日		1月1日 須ケ原小学校がそれぞれ旧中学校に移転
<b>平成40年</b>		

Nakagawa 60 years History

# 1958～2018 中川村発足60年のあゆみ



しゅん工式の様子<sup>(上)</sup>/しゅん工式では、保育園児による大草小彼岸やソメイヨシノの苗木が植樹され、今後も長く桜の名所として親しまれることが期待されています。



村の呼びかけに賛同した40人の組織や団体、連合準会員の皆さんから設立総会に参加し、当日は3グループに分かれた意見交換なども実施しました。

10月31日

坂戸公園周辺整備事業しゅん工式

形成につなげるため、「中川村美しい村づくり協議会」を設立しました。協議会は美しい村づくりに向けた意識と情報を共有し、それぞの会員の活動に活かすことで、村の発展に寄与することを目指しています。平成30年2月8日

中川村が「日本で最も美しい村」連合へ加盟してから3年が経ち、自然景観や伝統文化などの地域資源を大切にし、さらに地域資源を活用して地域・経済の活

美しい村づくり協議会設立  
平成23年10月25日

平成25年  
10月25日

## 美しい村づくり協議会設立

沢川歩道橋「尺宮司橋」の新設  
天の中川河川公園と公園につなぐ  
る村道の整備、子育て支援施設  
どいの広場「バンビーニ」の整備、

「チャオ周辺整備事業」は、農産物加工施設「つくつチャオ」の完成をもって事業がほぼ完了し、合同完成式が行われました。平成16年度には、また天竜川河川改修工事を契機で、「チャオ周辺活性化検討委員会」がよって、「チャオ周辺活性化整備構想」がまとまりました。

# 平成22年5月22日 チヤオ周辺整備合同完成式



平成25年1月13日 消防団出初式(上)

立成2年4月1日から立成  
間の有事に対応可能な消防団〇  
Bを特別消防団員として任命す  
るなどの取り組みも進めてきまし  
た。

中川村消防団は団員の減少が続く中、平成19年4月1日に第1分団と第3分団が合併し、現在の2分団体制となりました。平成22年4月1日からは、条例定数を210人から200人に削減しましたが、勤務体系の多様化や対象世代の減少により、団員確保は常に大きな課題となっています。

## 商品券交付

消方用

卷之三



「つくっチャオ」テープカット式/平成3年12月9日しゅん工の旧農産物加工施設は老朽化、手狭、食品衛生基準不適などの課題が指摘されていました。平成17年から施設の在り方について、加工施設利用者会議において検討が進められ、平成21年11月、旧施設の東側への建設工事が始まり、翌年3月に完成了した。

月25日に入居開始となりました。高齢者住宅については、平成16年4月に設置された新なかがわビジョン会議の分科会の場でも議論されており、平成18年12月には高齢者地域ケア体制検討委員会からの答申を受け、チャオ周辺活性化事業の一環として整備することが決まつていました。子育て世帯などを対象とした一般世帯については、募集戸数に対して2倍近くの応募があり、抽選により入居者を決定しました。



写真でつづる  
美しい村  
「なかがわ」

